



家族が早く相談・支援につながるための冊子  
「家族のためのひきこもり支援ブック」

ができました！

県障害福祉課が、平成30年度に実施した「香川県ひきこもりに関する実態調査」では、ひきこもりの状態にある方の長期化・高齢化の傾向がみられました。また、37.6%の方が支援を受けていない状態にあることが分かりました。

こうした現状を踏まえ、まずは家族が早期にひきこもりの相談や支援につながるように、同じ悩みを持つ家族のエピソード等を掲載したパンフレットを作成しました。

本冊子は、県内のひきこもり相談機関、家族支援団体等に配布し、相談窓口にも配布してもらうとともに相談時の参考資料として活用していきます。また、4月中に県障害福祉課や香川県ひきこもり地域支援センターのホームページでも本冊子を掲載予定です。

### 「家族のためのひきこもり支援ブック」冊子のおもな内容

※添付資料は現物です。

#### 1 ひきこもったきっかけ

子どもがひきこもった経験のある家族にインタビューした「子どもがひきこもったきっかけや親の悩み・心境」を掲載しています。自分だけでない、同じ悩みを抱える人がいることを知ってほしい。

#### 2 ひきこもっている本人の状況

内閣府が平成27年度に満15歳から満39歳までを対象にした「若者の生活に関する調査」からのデータから、ひきこもっている本人の状況を掲載しています。本人の状態や不安な気持ちを知ってほしい。

#### 3 ひきこもりの子どもと親の実体験エピソード

実際の体験談からみえる親のかかわりと子どもの変化を掲載しました。親のかかわり方について考えるヒントになります。

#### 4 香川県内の相談窓口と相談の仕方についての紹介

相談について案内しています、あなたは1人じゃない。ご相談お待ちしております。